

輝く足羽福祉会の「宝」



かずひと
北 和史さん
昭和55年入社



田中 紀代美さん
昭和60年入社



よろず
萬 美子さん
昭和50年入社



丹羽 則之さん
昭和54年入社

今回、偉大なキャリアを積む諸先輩方を紹介させていただきます！昭和、平成、令和と3元号にわたって足羽福祉会で働かれていると考えた時、「凄っ!!」の一言でした。そこで、その足跡から学ぶべきことがたくさんあると思います、今回インタビューさせていただきました。



山口
(平成29年入職)

Q1 福祉職の魅力とは？

北さん 利用者の方を含め、いろいろな人との出会い。
田中さん 事務仕事とは違い、人が相手。利用者の方の喜ぶ顔を見ると、この仕事で良かったなと感じます。
萬さん 利用者の方の小さな成長の変化を見つけたとき、またそれを職員さんや他の世話人さん達と共有できた時・・・とてもうれしく思い、福祉の職に就いていて良かったなと思います。
丹羽さん 人のため、社会のために役立っていると思うことです。

Q2 長く続ける秘訣

北さん 忍耐・辛抱。
田中さん 相談できる人がいること。自分が頑張るだけでなく、助けてもらうことができる。プラス思考でいること。ストレス解消ができる趣味をもつこと。
萬さん いつも周りの皆さんに助けられてきました。そして困っているケースがあれば助けてあげようと思っています。そんなことで長く続けることができました。
丹羽さん 何よりも、利用者の方と一緒に楽しむことです。また、仕事は家族の理解と協力が無いとできないと思います。夜遅くなるのが当たり前だったこともあり、家族に感謝です。

Q3 後進へのアドバイス(金言)

北さん ストレスを溜めないこと、好きなことや楽しみを見つけて、欲張らず偉そうにしないこと。
田中さん 自分の感情を上手にコントロールできること。また、笑顔・思いやりの心・感謝の心を常に持っていると良いと思います。
萬さん 何かにつけて一番に頭に浮かんでくるのは、就職した当時、利用者の方にどのように接して良いか悩んだとき「もし自分子どもだったら、兄弟だったら、家族だったら」と教えてもらったことです。
丹羽さん 毎日忙しく、嫌なことや辞めたくなることが多いと思いますが、自分のすべき仕事をしっかりと、他の人のことは気にしないで、利用者の方としっかり向き合っていくましよう。

悩んだとき、困ったときに顔をみるだけで安心できる存在です。これからもいろいろと教えてください。よろしくお願いします！！

